



## マックスフォース (小型)G を使用したチャバネゴキブリ実地効力試験 ③

### 物件概要

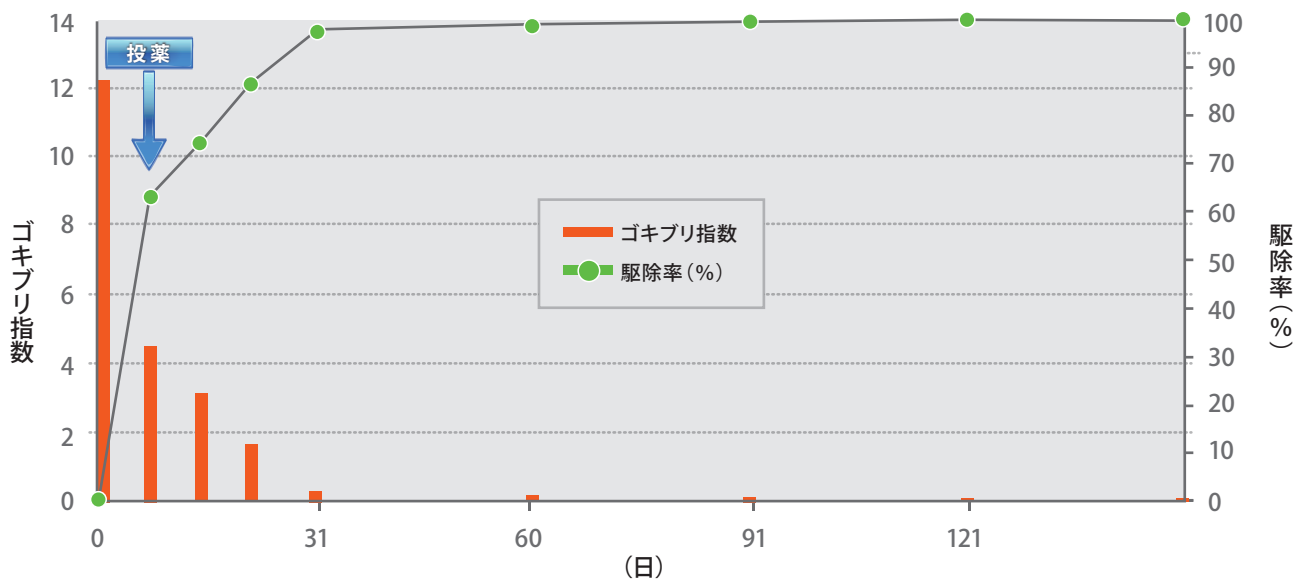
O市和食店、対象面積126.36㎡ (床面積36.45㎡と壁面面積を含む) \*  
\*本物件では、壁面も含め処理を行ったため、対象面積とした

### 試験概要

試験開始前のゴキブリ指数を調査し、試験開始日にマックスフォース (小型)Gを合計50個設置した (平均2個/5㎡)。その後、1週間、2週間、3週間、1ヶ月、2ヶ月、3ヶ月、4ヵ月、5ヵ月の観察を行い各ゴキブリ指数、駆除率の算出をした。

## 試験結果

試験開始前には、高いゴキブリ指数であったが、投薬後はゴキブリ指数は飛躍的に低下し、その後、長期間にわたり低いゴキブリ指数が維持された。



$$\text{ゴキブリ指数} = \frac{\text{全捕獲数}}{\text{全トラップ数} \times \text{設置日数}}$$

$$\text{駆除率} = \left(1 - \frac{\text{駆除後のゴキブリ指数}}{\text{初回時のゴキブリ指数}}\right) \times 100$$

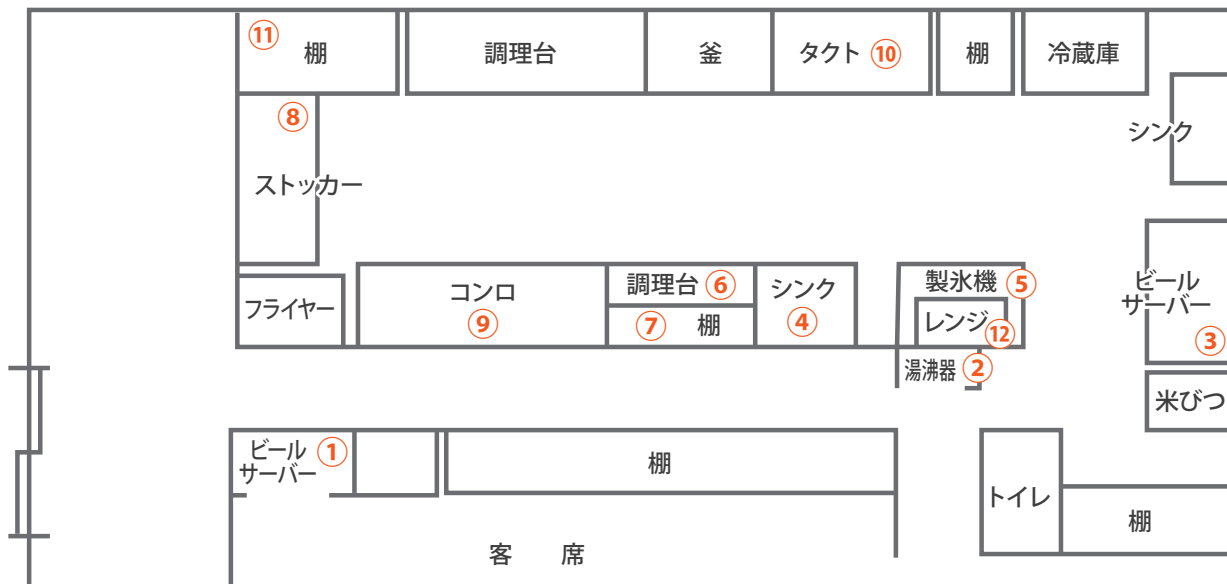
## 考察

マックスフォース (小型)Gゴキブリ防除用ベイト剤として実用的な効果を有していることがわかった。

### 試験機関

近畿大学 農学部 林産化学研究室

# 設置箇所



①～⑫:トラップ番号